

《第151回》 令和八年一月の作品

〈一月九日（金） 文京区民センター3E〉

筆勢に衰へ見ゆる年賀状
（正佳）

恙無く妻と味はふ節料理
（前歩）

珈琲の豆を挽きつつ礼者待つ
（隆治）

初満月凍てつく街を露はにす
（奉男）

蒼天に鳶^{とび}職の技ある出初式
（一江）

初競りや大間の夢に五億円
（孝昭）

年賀状書けぬ友より電話あり
（貴美）

芝の鐘遠く聞こゆる去年今年
（正雄）